

株式会社つくばエンバイロンメントソリューションズ

環 境 活 動 レ ポ ー ト



活動期間 2017 年 1 月～ 12 月

発行日 2018 年 4 月 2 日

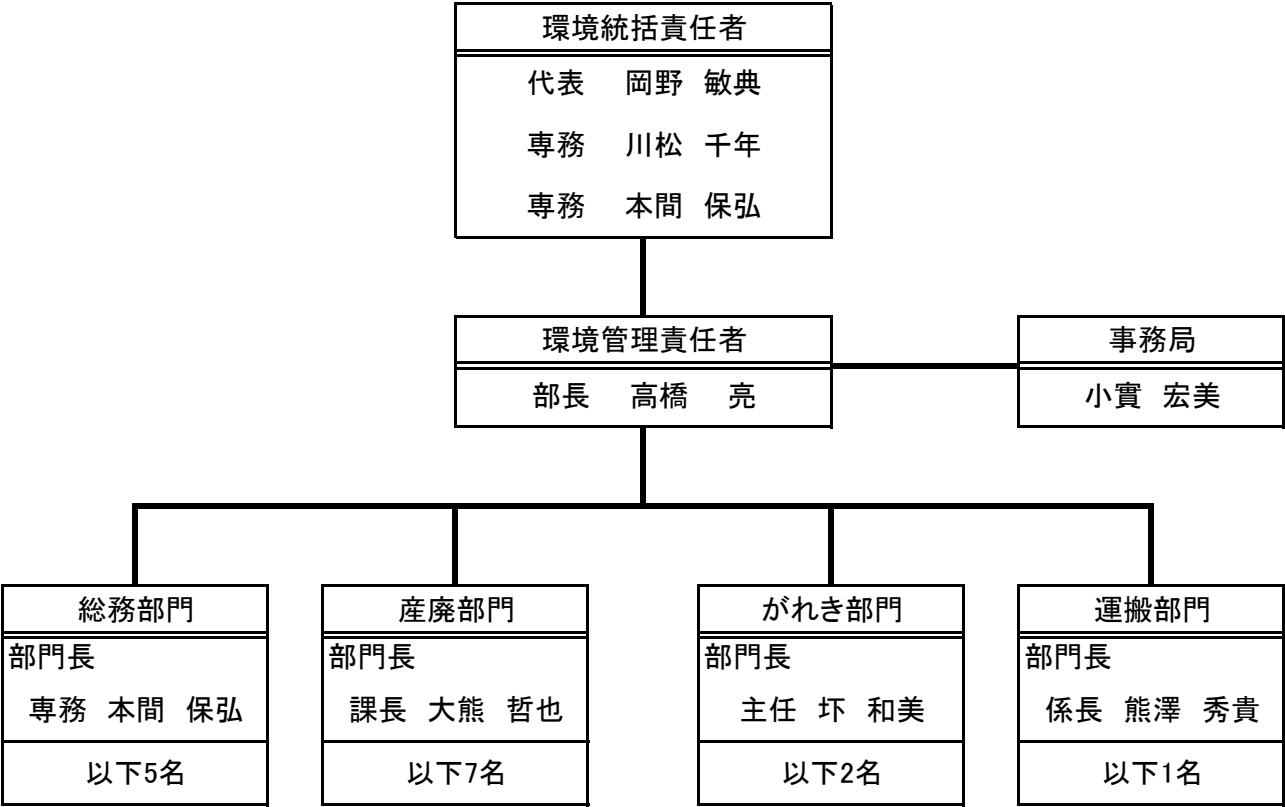
- I. 組織の概要
- II. 対象範囲
- III. 環境方針
- IV. 環境目標
- V. 環境活動計画
- VI. 環境目標の実績
- VII. 環境活動計画の取組結果とその評価、
次年度の取組内容
- VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- IX. 代表者による全体見直しの結果

I. 組織の概要

事業所名	株式会社つくばエンバイロメントソリューションズ
代表者名	岡野 敏典
所在地	〒300-2645 茨城県つくば市上郷4257-1
【本社】	Tel. 029-847-5502 Fax. 029-847-5564
	Mail: info@t-es.co.jp
	http://www.t-es.co.jp
設立年月日/資本金	平成14年2月12日 資本金1,000万円
事業活動の内容	茨城県内の顧客から産業廃棄物の収集運搬の委託を受け、県内及び他県への中間処理委託業者へ運搬を行う。また社内で中間処理として減容作業を実施してリサイクル業者又は、最終処分場へ運搬を行う。
環境管理責任者	高橋 亮 連絡先 029-847-5502

	単位	2016年	2017年
収集運搬量(産業廃棄物)	t	5,407.49	4,777.83
売上高	百万円	530	620
従業員	人	21	23
事務所床面積	m ²	102.09	102.09
中間処理量(一般廃棄物)	t	152.37	70.83
中間処理量(産業廃棄物)	t	41,165.47	41,503.19
最終処分量	t	12,106.56	11,782.89

環境経営システム組織図



組織の構成員	役割・責任・権限
経営者	①環境方針を定める。 ②環境管理責任者を任命すると共に、環境経営組織、役割、責任を定める。 ③必要な経営資源を提供する。 ④活動の実績を環境管理責任者に求め、見直しを行い、必要な指示えお行う。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、運用の責任者と権限を有する。 ②運用状況の全体について把握し、代表者に報告する。
事務局	①環境管理責任者を補佐し、環境経営システムを円滑に運用する。
部門長	①環境方針、環境目標、環境活動計画の自部門に関連する活動及びその他環境管理責任者からの指示事項についても実践する。
従業員	①部門長から指示のあった事項について実践する。

Ⅱ. 対象範囲

○対象範囲:産業廃棄物中間処理業・産業廃棄物収集運搬・一般廃棄物中間処理業

○許可の内容

産業廃棄物処分の許可内容			
許可自治体	許可番号	許可年月日	許可の有効期限
茨城県	00821099599	H30.5.10	H35.3.4
取扱品目 廃プラスチック, 紙くず, 木くず, 金属くず, ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず, がれき類			

産業廃棄物収集運搬の許可内容			
許可自治体	許可番号	許可年月日	許可の有効期限
茨城県	00801099599	H30.5.10	H35.3.6
千葉県	01200099599	H29.6.15	H34.5.21
埼玉県	01100099599	H29.2.28	H34.2.27
栃木県	00900099599	H29.4.10	H34.4.9
秋田県	00507099599	H29.10.25	H34.10.24
群馬県	01000099599	H29.11.14	H34.11.13
取扱品目 燃え殻, 汚泥, 廃プラスチック類, 紙くず, 木くず, 繊維くず, 動植物性残さ, 金属くず, ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず, 鉱さい, がれき類, ばいじん			

一般廃棄物処理業の許可内容			
許可自治体	許可番号	許可年月日	許可の有効期限
つくば市	11113	H30.4.1	H32.3.31
取扱品目 木くず, がれき類			

○施設の状況

※ 収集運搬車両・重機

運搬車両の種類	台 数	重機の種類	台 数
ユニック車	2台	パワーショベル	6台
4tアームロール車	2台	ホイールローダー	2台
大型アームロール車	2台	フォークリフト	2台

※ 処理方法

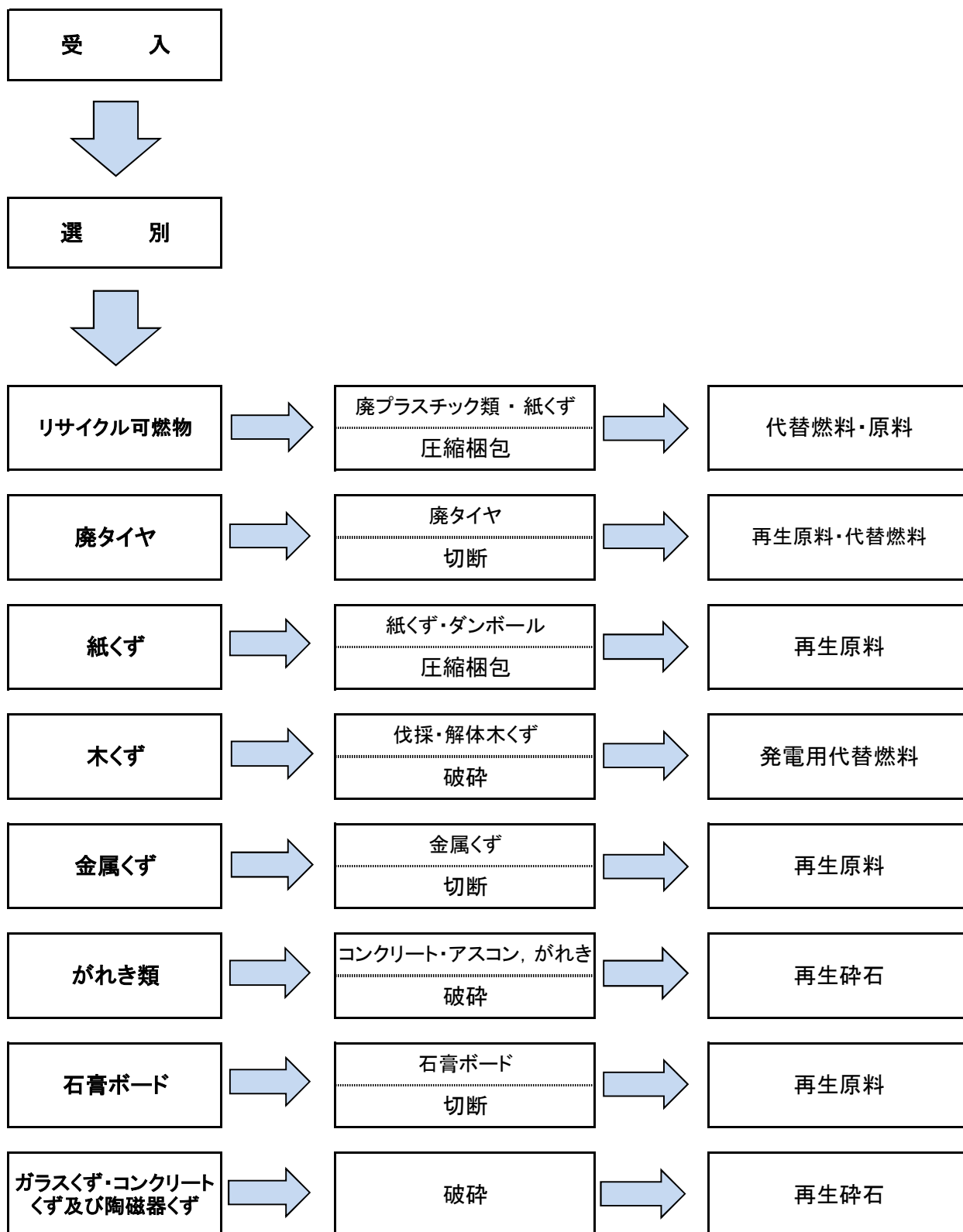
産業廃棄物

処理施設の種類	処理する産廃の種類	処理能力
圧縮梱包機	廃プラスチック類	9.92t/日
	紙くず	9.12t/日
切断機	廃プラスチック類 (廃タイヤ)	25.92t/日
	金属くず	7.76t/日
	ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず (廃石膏ボード)	20.72t/日
破砕機	木くず	5.32t/日
	金属くず	400t/日
	ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず がれき類	

一般廃棄物

破砕機	木くず, がれき類
-----	-----------

※ 処理フロー図



Ⅲ. 環境方針

《基本理念》

私たち株式会社つくばエンバイロメントソリューションズは、その名のとおり環境問題を解決したいという気概を持って、平成15年にスタートした会社です。今や環境問題は、地球規模で直面している最大の危機と言っても過言ではありません。その中にあって私たちは、事業活動において環境負荷の低減を図るために、本当に小さな力でしかないかも知れませんが、ていねいに、確かな仕事をし、限りある資源エネルギーの削減とリサイクルを通じて、将来、社会への環境保全活動に大きな力となれることを信じ、従業員一丸となって常に環境負荷を考え、地球を助けます。

《環境保全への基本方針》

- 1・下記の事項について環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
 - ① 電気及び燃料を節約し、CO2削減に努めます。
 - ② 自ら排出する廃棄物を削減します。
 - ③ リサイクルのルートを確立し、循環型社会形成へ貢献します。
 - ④ 水資源の節減を図ります。
 - ⑤ 事務用品のグリーン購入を推進します。
 - ⑥ 近隣や社会への環境問題を取り組みます。
- 2・環境関連法規制や当社が約束したその他法規制を遵守します。
- 3・環境への取り組みを環境活動レポートにしてとりまとめ公表します。
- 4・この環境方針は、全従業員に周知します。

2016 年 12 月 1 日制定

株式会社つくばエンバイロメントソリューションズ

代表取締役

岡野 敏典



IV. 環境目標

NO	環境目標(項目)			担当部署及び 責任者	基準値 (H28年実績)	目標値		
	大区分	小区分	管理項目			平成29年	平成30年	平成31年
1	CO2排出量の削減	総CO2の排出量削減	総CO2排出量	環境管理責任 高橋亮	CO2総排出量 (396.53t)	1%削減 (392.56t)	2%削減 (388.60t)	3%削減 (384.63t)
		営業車の燃費向上	ガソリン使用量	総務部門 本間保弘	ガソリン使用量 (3,960.50L)	1%削減 (3,920.90L)	2%削減 (3,881.29L)	3%削減 (3,841.69L)
		収集運搬車の燃費向上	軽油使用量	運搬部門 熊沢秀貴	軽油使用量 (22,605.74L)	1%削減 (124,782.31L)	2%削減 (123,521.89L)	3%削減 (122,261.46L)
		重機等の燃料使用量の削減	軽油使用量	環境管理責任 高橋亮	126,042.74L 軽油使用量 (103,437.00L)			
		暖房用、給湯用燃料の 使用量削減	灯油及びLPG 使用量	総務部門 本間保弘	LPG使用量 (13.91kg)	1%削減 (13.77kg)	2%削減 (13.63kg)	3%削減 (13.49kg)
		電力使用量の削減	電力使用量	総務部門 本間保弘	電力消費量 (113,033kWh)	1%削減 (111,903kWh)	2%削減 (110,772kWh)	3%削減 (109,642kWh)
2	廃棄物の削減	総廃棄物の低減 (リサイクルの促進)	一般廃棄物量	環境管理責任 高橋亮	1.209t	1%削減 (1.196t)	2%削減 (1.184t)	3%削減 (1.172t)
3	総排水量の削減	上水使用量の削減	使用量	環境管理責任 高橋亮	2.3m ³	1%削減 (2.27m ³)	2%削減 (2.25m ³)	3%削減 (2.23m ³)
4	グリーン購入の推進	事務用消耗品のグリーン 購入の増加	グリーン購入 品目数	事務局 小實宏美	29品目	1品目購入 (30品目)	2品目購入 (32品目)	3品目購入 (35品目)
5	受託した産業廃棄物の収集 運搬・処分における環境配慮	産業廃棄物の再資源化等 の増加	再資源化等率	環境管理責任 高橋亮	70%	1%向上 (70.7%)	2%向上 (71.4%)	3%向上 (72.1%)

※ CO2排出量の削減において、購入電力の排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)2015年度実績(平成27年度)0.500kg-CO2/kWhとする。

※ 化学物質使用量は、安全データシート(SDS)で確認をし現在、該当品無し。

※ 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮において、再資源化等率は、中間処理量からの再資源化等率を算出。

V. 環境活動計画

環境目標				環境活動計画
No.	大区分	目標値	小区分	
1	CO2排出量の削減	392.56t	電気使用量の削減	冷暖房の温度管理をする。(暖房:20℃, 冷房:28℃)
				不在時消灯の徹底をする。
				OA機器等のエコモードを徹底する。
			化石燃料使用量の削減	エコドライブの実践をする。
				重機運転の効率化をする。
				法定速度を遵守する。
2	廃棄物の削減	1.196t	一般廃棄物の削減	廃棄物分別の徹底をする。
				必要のない用紙の裏側をメモ用紙に利用する。
3	総排水量の削減	2.27m ³	上水使用量の削減	蛇口の閉め忘れ防止の徹底をする。
				雨水を溜めて散水に使う。
4	グリーン購入の推進	30品目	事務用消耗品のグリーン購入の増加	環境配慮商品(エコマーク商品)などの購入をする。
				詰替え製品、再生紙の利用促進をする。
5	受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	70.7%	産業廃棄物の再資源化等の増加	再資源化等の向上をする。
				リサイクル先の拡大をする。

※化学物質使用量は、現在、該当品無し。

VI. 環境目標の実績

環境目標(項目)				基準値 (H28年実績)	目標値 平成29年1月～12月	実績 平成29年1月～12月	達成率(%)	評価 ※1)
No	大区分	小区分	管理項目 ※2)					
1	CO2排出量の削減	総CO2の排出量削減	総CO2排出量	① CO2排出量 (396.53t)	392.56 t	401.45 t	97.7%	△
		営業車の燃費向上	ガソリン使用量	② ガソリン使用量 (3,960.50L)	3,920.90 L	4,755.24 L	78.7%	×
		収集運搬車の燃費向上	軽油の使用量	軽油使用量 (22,605.74L)	124,782.31 L	128,384.57 L	97.1%	△
		重機等の燃料使用量の削減	軽油の使用量	③ 126,042.74L 軽油使用量 (103,437.00L)				
		暖房用、給湯用燃料の使用量削減	灯油及びLPG 使用量	④ LPG使用量 (13.91kg)	13.77 kg	13.57 kg	101.5%	○
		電力使用量の削減	電気使用量	⑤ 電気消費量 (113,033kWh)	111,903 kWh	106,905 kWh	104.5%	○
2	廃棄物の削減	総廃棄物の低減 (リサイクルの促進)	一般廃棄物	⑥ 1.209t	1.196 t	1.089 t	108.9%	○
3	総排水量の削減	上水使用量の削減	使用量	⑦ 2.3m ³	2.27 m ³	2.3 m ³	98.7%	△
4	グリーン購入の推進	事務用消耗品のグリーン 購入の増加	グリーン購入 品目数	⑧ 29品目	30 品目	41 品目	136.7%	○
5	受託した産業廃棄物の収集 運搬・処分における環境配慮	産業廃棄物の再資源化等 の増加	再資源化等率	⑨ 70%	70.7 %	71.6 %	101.3%	○

※1) 評価の基準: 目標達成率100%以上は○、90%以上は△、90%未満は×とした。

※2) グリーン購入以外は、環境負荷チェックシートより引用。

VII. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標					環境活動計画	計画取組	
No.	大区分	目標値	実績	小区分		結果	評価
1	CO2排出量の削減	392.56t	401.45t	電気使用量の削減	冷暖房の温度管理をする。(暖房:20℃, 冷房:28℃)	定着した	○
					不在時消灯の徹底をする。	定着した	○
					OA機器等のエコモードを徹底する。	定着した	○
				化石燃料使用量の削減	エコドライブの実践をする。	定着した	△
					重機運転の効率化をする。	定着した	△
					法定速度を遵守する。	定着した	△
				☆次年度の取組内容	※重機など使用しない時は、エンジンを切る。 ※空吹かしをしない。		
2	廃棄物の削減	1.196t	1.089t	一般廃棄物の削減	廃棄物分別の徹底をする。	定着した	○
					必要のない用紙の裏側をメモ用紙に利用する。	定着した	○
				☆次年度の取組内容	※意識が定着してきたので気を緩めずに取り組むこと。		
3	総排水量の削減	2.27m³	2.3m³	上水使用量の削減	蛇口の閉め忘れ防止の徹底をする。	定着した	○
					雨水を溜めて散水に使う。	定着した	△
				☆次年度の取組内容	※節水の意識を強くして取り組むこと。		
					※推定値と実測値を見極めて場合によっては、目標値の見直しを行うこと。		
4	グリーン購入の推進	30品目	41品目	事務用消耗品のグリーン購入の増加	環境配慮商品(エコマーク商品)などの購入をする。	定着した	○
					詰替え製品、再生紙の利用促進をする。	定着した	○
				☆次年度の取組内容	※購入する時可能な物は、環境配慮商品を購入すること。		
5	受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	70.7%	71.6%	産業廃棄物の再資源化等の増加	再資源化等の向上をする。	定着した	○
					リサイクル先の拡大をする。	定着した	○
				☆次年度の取組内容	※定着しているが、気を緩めずに取り組むこと。		

Ⅷ. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	該当: ○	点検・測定頻度、実施時期	順守評価	
				証拠	判定
廃棄物処理法	・委託基準:一廃収集業者の許可の確認	○	・1回/年	許可書	○
	・委託基準:産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	○	・契約書許可書につき1回/年	契約書・許可書	○
	・保管基準	○		現物	○
	掲示板:60cm×60cm以上表示	○			
	飛散・浸透防止	○			
	衛生管理	○			
	・マニフェスト交付 B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報告	○	・マニフェスト新規交付時又は月末	マニフェスト伝票	○
	・多量排出事業者の報告(1000トン/年以上)	○	・6月末まで	報告書	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○		報告書	
	・収集運搬業・中間処理業の許可書	○	・事業内容(許可内容)を参照	許可書の有効期限、許可範囲	○
水質汚濁防止法	・油及び有害な化学物質の流出事故時の措置と届出		・新設/変更時の事前届出	事故(有 無)	
	・特定施設の届出	○		届出書	○
	・排出基準の遵守	○		記録類	○
	・排水濃度の測定・記録(3年保存)、監視	○		測定記録	○
浄化槽法	・設置届	○	・新設/変更時の事前届出	届出書	○
	・法定検査	○		水質検査記録	○
	・保守点検及び清掃の実施	○		保守点検記録等	○
騒音防止法	・特定施設の事前届出	○	・新設/変更時の事前届出	新設(有 無)	○
	・指定地域別騒音基準の順守	○	・異常音の日常管理	届出書	○
振動規制法	・特定施設の事前届出	○	・新設/変更時の事前届出	新設(有 無)	○
	・指定地域別振動基準の順守	○	・異常振動の日常管理	届出書	○
消防法	指定可燃物の扱い:指定可燃物の指定数量の5倍以上の届出 (市町村火災予防条例)	○		現場観察	○
フロン排出抑制法	・業務用エアコン	非該当	・業務用エアコンの使用無し		
水銀汚染防止法	・他の物と混合するおそれのないように仕切りを設ける等の措置をすること	○		実施中	○

※産廃業としての水銀の排出はありません。

※順守状況及び違反、提訴等の有無

上記一覧表の通り順守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

IX. 代表による全体評価と見直しの結果

環境管理責任者から提供された情報	環境管理責任者は各項目毎に問題点等を判りやすく整理して代表者へ提供する。
①目標の達成度及び環境活動計画の実施状況	1年間の実績で年末から決算期までの多忙な時期があった為、CO2排出量の削減が目標達成出来ていない。
(確認文書名) 環境目標一覧表、環境活動計画・実績表	
②法令等の遵守状況	1年間については、適切に運用されており、問題はない。
(確認文書名) 環境法令等一覧表	
③問題点の是正処置及び予防処置の結果	ガソリン使用量については是正処置報告書を作成した。
(文書名) 不適合・是正処置報告書	
④外部からの苦情等の受付結果	外部からの苦情に関する情報はなかった。 社内の意見・提案については、業務運営会議で実施。
(文書名) 環境(社内／社外)情報受付台帳 環境(社内／社外)情報対応記録	
⑤法令等の動向	水銀汚染防止法
⑥その他の問題点	特になし

代表者からの環境管理責任者への指示事項	環境方針	変更の必要性	有	無
		指示事項	環境保全を念頭に、各取組みを実施して下さい。	
	環境目標	変更の必要性	有	無
		指示事項	達成することも大事ですが、今回のように達成できない理由の把握も大事ですね。改善策の構築をしっかりと行って下さい。	
	環境活動計画	変更の必要性	有	無
		指示事項	各自が環境保全の志を持って、引き続き頑張ってください。	
	環境経営システムのその他の要素	変更の必要性	有	無
		指示事項	特に責任者の方は、「自発的な+αの実行」が出来ると良いですね。	